

# やまぐちっ子 学力向上だより

第 1 1 号 H21.7.3  
山口県教育庁義務教育課

## 全国学力・学習 状況調査等を活 用した授業改善

今年度の全国学力・学習状況調査が実施されて約2か月が経過しましたが、先生方もこの問題を解かれましたか。

学力調査の問題作成に当たっては、学習指導要領の内容を踏まえ、子どもたちに身に付けさせたい力が具体的に分かるよう配慮されています。(『平成21年度 全国学力・学習状況調査解説資料H21年4月』)

学力調査の問題を分析したり、授業で活用したりすることは、子どもたちが学習指導要領に示された内容について何をどのように身に付けていけばよいかを知り、授業改善を進める具体的な方法の一つです。

## 学力調査の問題 を授業の中で活 用しましたか？

学校質問紙に「全国学力・学習状況調査の調査問題を授業の中で活用しましたか。」という質問がありました。20年度の結果は次のとおりです。調査問題の活用について、全国では大きな開きがあることがお分かりいただけるでしょうか。先生方の学校ではいかがですか。

「平成19年度全国学力・学習状況調査の調査問題を授業の中で活用しましたか」に「はい」と回答した割合

校種	小学校	中学校
山口県	36.5%	23.8%
全国平均	48.6%	39.2%
都道府県の最高値	91.6%	84.1%

## 学力調査の問題 作成の基本理念

学力調査の問題は、次の基本理念を枠組みとして作成されています。

### 「知識」に関する問題

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
- ②実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能

### 「活用」に関する問題

- ①知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
- ②様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力にかかわる内容

「全国的な学力調査の具体的な実施方法等について（報告）」H18.4

いずれも、実生活での場面を想定した学力が含まれています。これは、学校で学習した知識・技能等が、児童生徒を取り巻く様々な生活場面で活用できるようにすることが求められているからです。学年や教科の枠を越え、学力調査を受けた小6、中3以外の学年の先生方や、国語、算数・数学以外の先生方も含め、学校全体で出題の趣旨や正答・誤答の分析を行って、今後の指導や学習の改善に生かしていくことが大切です。

以前から「書く力に課題がある」ことは分かっていたけれど、どこでつまづいているのでしょうか。



この問題は、前の学年の指導内容が身に付いていないと答えられませんね。

国語や数学だけでなく、他の教科等でも大切にすべきポイントがありそうですね。

言語活動に着目した問題分析

新しい学習指導要領では、言語活動の充実が求められており、学力調査の問題でも、意見を書いたり説明したりする設問が多く見られます。次に特徴的な問題を挙げてみます。

①条件に即して書く

問題概要：「家の中のそうじや整とん」についての資料を見て話し合っている場面において、「最近の小学校6年生は、家の中のそうじや整とんによく取り組んでいる」という立場から、条件に合わせて意見を書く。

【資料】家の中のそうじや整とんをする小学校6年生の割合

	いつもしている	ときどきしている	あまりしていない	まったくしていない	無回答など
平成16年	15%	52%	24%	9%	0%
平成17年	14%	48%	29%	8%	1%

条件 ○平成17年度の割合(%)を取り上げること  
○60字以上80字以内にまとめて、発表するように書くこと

H21小国B[2]

問題概要：まど・みちおの詩「樹」を読み、5枚の写真から1枚を選び、詩と組み合わせて飾る場面を想定し、写真を選んだ理由を書く。

条件1 その写真と組み合わせる理由が分かるように、詩と選んだ写真とを関連付けて書くこと。


条件2 詩の中の言葉を使って書くこと。


条件3 解答用紙に書かれている後ろの文に続くように60字以上90字以内で書くこと。

H21中国B[3]

②記述する  
・「事実」を記述

算数・数学の記述式の問題には、次の3つのタイプが見られます。  
・説明の対象を明らかにし、「○○は～です。」と記述するタイプ

ア  問題概要：「紋切り遊び」でできる模様を集めたグループは、下のア、イのどちらか。また、これらの模様を参考に、「紋切り遊び」でできる模様だけにみられる図形の性質を説明する。 H21中数B[1]

イ 

・「方法」を記述

・言葉や数、式などで解決の方法を記述するタイプ

問題概要：縦2cm、横1cmの長方形のカードを、様々な大きさの長方形の板に敷き詰める場面において、どのように考えれば、実際にカードを置いたり、置いた図を書いたりして調べなくても、敷き詰められないことがわかるかを、言葉や式を使って書く。 H21小算B[4]

・「理由」を記述

・Aという理由、Bという結論を明確にして記述するタイプ

問題概要：下記の中から、500円以内で2種類の品物を買うとき、ハンカチを買くと、もう1種類の品物が買えないわけを、式と言葉を使って書く。 H21小算B[3]

ハンカチ350円 ボールペン280円 ノート250円 消しゴム200円

問題の分析を通して、子どもたちに身に付けさせたい学力を明らかにし、記録、要約、説明、論述といった言語活動を充実させ、学習内容の有用性が実感できるような授業づくりに取り組みましょう。